

小須戸田の家計簿

昭和五十九年度の決算が公表されましたので紹介します。
皆さんから納めていただいた税金はどのように使われているのでしょうか。町づくりはどう進んでいるのでしょうか。興味のあるところだと思います。町の財政というなかなか複雑でわかりにくいと思ってしまう。本質的には私達の家庭の家計簿と変わりありません。いくらお金が入ったのか、いくら借金をしているか、皆さんがどのくらい税金をおさめたのか、よりわかりやすくするために、歳入歳出を一人あたりの額におさかえてみました。

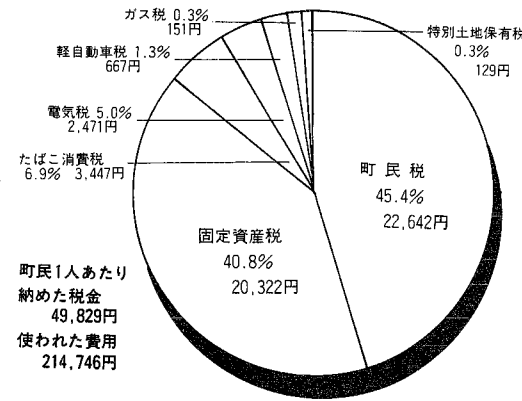
(図2)



入ったお金
23億1,288万5千円
1人あたり
218,012円

(32.5%) 地方交付税 70,811円 町の財政力に応じて国から交付されたもの	(22.9%) 町税 49,829円 皆さんが納めた税金で町民税、固定資産税など	(12.8%) 町債 27,948円 町の借金で大きな事業をするときに借りました
(8.0%) 国庫支出金 17,498円 事業に対しての国からの補助	(7.8%) 諸収入 16,975円 住宅や地方産業育成資金などの貸付金の元利収入	(5.5%) 県支出金 11,996円 事業に対しての県からの補助
(3.0%) 使用料・手数料 6,648円 住宅の使用料や保育料、各種証明手数料等	(2.9%) 繰越金 6,277円 58年度から繰越されたお金	(2.0%) 財産収入 4,265円 基金の預金利子や財産売却収入
(0.2%) 分担金・負担金 437円 各種工事の受益者負担金など	(2.4%) その他 5,328円 地方譲与税や、皆さんから寄附していただいたお金など	

町税 5億2,863万7千円 (図1)



一般会計の概要

昭和五十九年度の当初予算は前年度に対し2.8%増でスタートしました。その後の補正で最終的に一般会計の決算額は、入ったお金(歳入) 23億1,288万5千円、出たお金(歳出) 22億7,824万5千円で、差し引き3,464万円の黒字となり、翌年度に繰越されました。
また、この決算額は昨年比で歳入で4.0%、歳出で5.6%のそれぞれ増となりました。

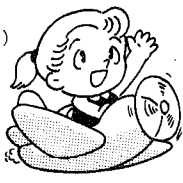
町税 (図1)

皆さんから納めていただいた税金は全体で5億2,863万7千円。前年度と比較して 1,721万9千円、3.4%の増となりました。町民一人あたり4万9,829円を納めたこととなります。

入ったお金 (図2)

町に入ったお金(歳入)をわかりやすくするため一人あたりの額におさかえてみました。その中で町税、諸収入、財産収入など、自分の町で確保できるお金(自主財源)は昨年よりは増えています。全体の39.6%しかありません。
そして地方交付税や国庫支出金、県支出金、町の借金などによるお金(依存財源)が全体の60.4%を占めています。

(図3)



出たお金
22億7,824万5千円
1人あたり
214,746円

(29.7%) 教育費 63,767円 小・中学校、幼稚園にかかる経費、及び公民館など社会教育費	(14.2%) 土木費 30,614円 道路や水路整備事業、除雪にかかる経費	(10.9%) 総務費 23,427円 一般事務経費や、土地開発基金、奨励基金など基金積立金
(10.6%) 農林水産業費 22,829円 農業振興及び農道、林道などの整備事業	(10.4%) 公債費 22,379円 町の借金の返済金	(9.8%) 民生費 21,002円 老人医療費などの老人福祉、及び保育所にかかる経費
(4.7%) 衛生費 10,055円 病室等に行われた各種検診及び白癩病センターに対する負担金など	(3.5%) 商工費 7,518円 産業育成資金や中小企業育成資金などの貸付金や、商工業振興のための補助金	(3.4%) 消防費 7,309円 白根地区消防事務組合への負担金など
(2.5%) 議会費 5,281円 議会の運営に関する経費	(0.3%) その他 565円 県労働金庫預託金	

出たお金(目的別) (図3)

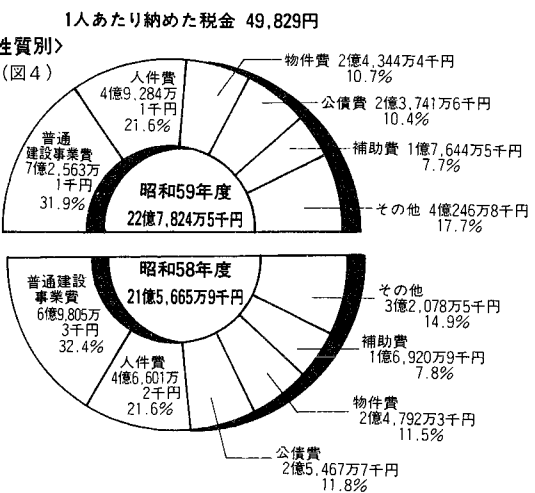
一人あたりでは、21万8,012円入ったこととなります。一世帯あたりでは92万4,784円入ったこととなります。

出たお金(歳出)を見てみると、目的別ではやはり、小須戸小学校の改築事業のあった教育費が全体としては、6億7,650万4千円、29.7%でトップでした。次に、町の道路の舗装や改良、都市街路など土木費が、3億2,478万7千円、14.2%を占めています。続いて総務費2億4,853万3千円、農林水産業費が、2億4,219万4千円です。
また、昨年の決算では、公債費が急激に増加しましたが、59年度では昨年比で1,726万1千円、7.2%減となりました。
そして、町民一人あたりに使われた費用は、21万4,746円になり、皆さんが納められた税金の約4倍になります。

出たお金(性質別) (図4)

出たお金(歳出)の性質別を見てみると普通建設事業費が前年度と比較すると減っていますが、小須戸小学校の改築や中学校の改修、農業施設、道路改良などで31.9%を占めています。続いて人件費、物件費、公債費、補助費となります。昨年は公債費の方が物件費を上回っていましたが、59年度では物件費の方が公債費より増えました。

性質別 (図4)



決算額の推移 (図5)

